

天草教育会館の歴史

昭和8年 天草の教育推進・振興の拠点とすべく、天草郡下800余名の全教職員の賛同を得て会館建設に取りかかる。

当時の趣意書より

全教職員は節酒節約を励行し、2カ年半にわたって毎月の給料から総額1万2000円(1人あたり15円)を拠出して、土地購入と会館建築費に充てました。15円の金額は、当時の師範学校卒初任給の3分の1相当額でした。基礎工事には2日間にわたって数百名の教職員が労力奉仕をしました。また、建築費の不足分4000余円は町村寄附と一般寄附をいただきました。

※現在、旧天草教育会館の建物は天草文化交流館(天草市船之尾町)として活用されています。



<旧教育会館>

- 昭和10年 天草教育会館落成(3月20日)。
熊本県教育会天草支会事務所を置く。
- 昭和16年 興亜寮を上級学校入学準備所の施設として苓北町出身の田付貞明氏が寄贈。
- 昭和20年 天草教育会館別館興亜寮を天草図書館とする。
- 昭和21年 天草町村会事務局、天草郡村会議長会事務局等が入居。(昭和31年4月まで)
- 昭和22年 天草郡教育会は解散し、教育会館と天草図書館(興亜寮)は熊本県教職員組合天草支部へ移譲。
- 昭和29年 財団法人天草教育会館として設立許可を得る。(1月23日)
天草教育研究所が発足する。
天草図書館と本渡市立図書館が併置される。(昭和52年3月まで)
- 昭和31年 文化展会場を本渡南小学校から天草教育会館へ移す。
- 昭和39年 天草郡市校長会の事務所を置く。
- 昭和56年 老朽化のため新築移転の構想がまとまる。(移転候補地:上川原柏木地区)
- 昭和57年 新教育会館建設に向けて「教育会館運営基金」を設置し、天草郡内の小・中学校全教職員より毎月300円の寄附金集金を開始する。(平成16年3月まで継続)
- 昭和60年 現在地購入希望者がいないため柏木団地移転新築構想は廃止され、現在地に改築する方向で検討が始まる。
- 平成11年 土木事務所より、県の昭和の遺産として価値があり、文化財の指定を受ければ補助があると助言を受ける。監督官庁との協議の結果、売却可能ということで新築移転の方向を決定。
- 平成14年 建設委員会を設置し新教育会館の構想に着手。
「志柿」の代替地を本渡市より購入。(10月)
- 平成16年 会館建設の目途がたったので「教育会館運営基金」としての寄附金の集金を中止。(3月)
22年間で総額1億3800万円強の金額になる。
新教育会館建設工事に着工(8月)竣工(12月)総工費1億6000万円。
- 平成17年 旧教育会館を本渡市に売却。(1月)
新教育会館業務開始。(2月7日)
新教育会館落成式。(2月19日)
- 平成24年 一般財団法人へ移行。(4月1日)
- 令和3年 天草郡内の小・中学校教職員より毎月300円の新教育会館建設積立資産の寄付金集金を開始する。(4月1日)
- 令和4年 屋根外壁改修工事完了(6月13日)工事費13,373,000円



<現教育会館>